宮沢賢治詩集の出版事情——中国語バージョンの場合

Ginfen GU (顧錦芬 : Associate Professor, Department of Japanese-language Literature, Tamkang University)

✉ 095052@mail.tku.edu.tw

(台湾) 淡江大学日本語文学科副教授。日本近代文学。主著に『日本近代文学としての童話—昭和前期の作品を中心に』(新學林出版公司, 2013)、『『宮沢賢治詩集』の中国語訳について—難点と克服』(『宮沢賢治研究 Annual』第二十七号, 宮沢賢治学会イーハートブセンター, 2017) など。

The Publication History of Chinese Translations of Kenji Miyazawa's Poetic Oeuvre

The two major genres of Kenji Miyazawa's works are the fairy tale and poetry. His true feelings are better reflected in his poems than in his fairy tales, but Chinese translation of his poetry has not been published for long years. However, since 2015, Chinese translations of Miyazawa's poetry have been published. This review provides a complete list of these books and summarizes their characteristics.

Keywords Kenji Miyazawa(宮沢賢治), Miyazawa Poetry Collection(宮沢賢治詩集), Chinese Translation(中国語訳), *Spring and Asura*(春と修羅)

宮沢賢治の作品の二大ジャンルは童話と詩である。同じ心象スケッチであっても、虚構の童話より詩には彼の心情などが託されているため、賢治とその文学を知る上で、詩は不可欠なジャンルだと思われる。賢治詩の英訳本は早く、既に1973年には出版されている。(Spring&Asura: Poems of Miyazawa Kenji, Hiroaki Sato (Translator) Chicago Review Press)。しかしながら、中国語圏では、賢治童話集の訳本が数多く出版されてきているのに対して、詩集の訳本は2015年までには刊行されていなかったようである。

ところが、2015年以降、中国語圏においても、賢治詩が漸く翻訳されるようになり、次々と出版された。私見であるが、東日本大震災(2011年)以降、「雨ニモマケズ」が日本国内外で以前にも増して有名になったことがきっかけで、徐々に賢治の韻文作品にも関心が向けられていったのが理由の一つではないかと考える。

以下、筆者に把握できた賢治詩の中国語訳の出版物を出版時間順に紹介していくこととする。詩の分類名は『新校本宮沢賢治全集』(筑摩書房、1995年)に従う。

一、2015年9月 吴菲訳『春天与阿修罗』(中国、簡体字)、新星出版社、頁数180。

『春と修羅』から41首、「春と修羅補遺」2首、『春と修羅第二集』33首、「春と修羅第二集補遺」1首、「補遺詩篇II」1首、「歌曲」2首という構成である。

二、2015年12月 顧錦芬訳『不要输给风雨：宮澤賢治詩集』(台湾、繁体字)、商周出版社、頁数341。紙書籍と電子書籍が出版されている。

『春と修羅』から42首、『春と修羅第二集』と『春と修羅第三集』各12首、「春と修羅第三集補遺」1首、「詩ノート」5首、「口語詩稿」と「疾中」と「歌曲」各1首、「補遺詩篇II」3首、「文語詩」5首という構成である。

三、2017年1月 顧錦芬訳『不要输给风雨』(中国、簡体字)、天津人民出版社、頁数292。

前掲『不要输给风雨：宮澤賢治詩集』を元に、簡体字に改めたバージョンである。中国大陸の読者に不慣れな表現は調整されている。

四、2018年2月 朱田云訳『春与阿修罗』(中国、簡体字)、人民文学出版社、頁数306。

『春と修羅』から23首、『春と修羅第二集』33首、『春と修羅第三集』16首、「口語詩稿」7首、「疾中」5首、「三原三部」1首、「東京」1首、「詩ノート」8首、「補遺詩篇I」3首、「補遺詩篇II」4首という構成である。

五、2018年6月 吳菲訳『不畏风雨 宮澤賢治詩選』(中国、簡体字)、新星出版社、頁数 257。前掲『春天与阿修罗』の増訂版。

「補遺詩篇Ⅱ」から1首、「詩ノート」1首、「疾中」5首、「短歌」2首、「歌曲」3首、『春と修羅』49首、「春と修羅補遺」2首、『春と修羅第二集』33首、「春と修羅第二集補遺」1首という構成である。

六、2019年5月 林農凱訳『宮澤賢治詩集』(台湾、繁体字、中日対照)、笛藤出版社、頁数351。

『春と修羅』から30首、『春と修羅第二集』3首、「春と修羅第二集補遺」1首、『春と修羅第三集』5首、「春と修羅第三集補遺」1首、「詩ノート」1首、「補遺詩篇Ⅰ」1首、「補遺詩篇Ⅱ」3首という構成である。

以上掲げた中国語訳の詩集の共通点は賢治の詩をいろいろなジャンルから収録することにより、バリエーションに富む点である。但し、短歌と文語詩は比較的少ない。

翻訳は時代やそれぞれの地域に受け入れられることを前提とするので、今後、賢治詩の中国語訳も多種多様なバージョンが産出されていくと思われる。そして、将来、短歌や文語詩をも多数収録した中国語訳詩集、或いは賢治の生前刊行された『春と修羅』の完訳本などの出版も望まれるであろう。